



## NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDINGS LTD.

### ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングスの 2050 年までに 温室効果ガス排出量ネットゼロを目指す取り組み

#### クルーズ事業とバリューチェーンにおよぶ脱炭素化への取り組みを強化 気候関連財務状況開示タスクフォース(TCFD)に関する初の報告書を公開

2022 年 5 月 6 日(東京) - ノルウェー・ジャンクルーズライン、オーシャンシアクルーズ、リージェント セブンシーズクルーズを運営する世界有数のクルーズ会社ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)が、2050 年までにクルーズ事業とバリューチェーン全体でネットゼロエミッションを目指すを発表。短期および直近の温室効果ガス削減目標を立ててネットゼロへの道を支えるべく取り組む中、さらに、ステークホルダーに対する透明性を提供する「気候関連財務状況開示タスクフォース報告書」(以下「報告書」)を初めて発行しました。

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス社長兼 CEO フランク・デル・リオは、「ネットゼロの追求は、私共にとって最も重要な航海のひとつとなります。私共のネットゼロ目標はバリューチェーン全体に及びます。この変革の旅には、世界中の広大なグローバルサプライヤーのネットワークを含む主要パートナーにも同行していただきます。道のりは困難を極め、多大なるご協力を仰ぎながらも革新と技術の進歩が必要であることは認識していますが、低炭素経済への移行に貢献できるよう、自らの役割を果たしていきます」と決意を新たにしています。

気候変動への新たな取り組みは、既存の気候変動対策戦略を拡大・強化するもので 3 つの重点分野にわたります: 1) 二酸化炭素強度の縮小、2) 技術投資と代替燃料の模索、3) 自主的カーボンオフセットプログラムの実施。保有船舶および周辺を含めた排出量削減の可能性については継続的にモニターし投資していきます。そのためにもパートナーと緊密に連携してベストプラクティスを特定し、脱炭素化への取り組みを加速させます。昨年は長期的な解決策を模索する一方で、短期的に脱炭素化ギャップを埋めるための測定可能なアクションとして、二酸化炭素換算で 300 万トンのオフセットクレジットを購入しました。ネットゼロ目標を達成するための主な推進力は、代替燃料の開発と、こうした燃料の使用促進のため世界中の目的地でインフラを整備することです。十分に拡張可能な適切な代替燃料源を特定するための提携、研究、議論も進めます。例えば、現在、エンジンメーカーや船級協会などのパートナーと積極的に連携し、安全かつ効果的なメタノールエンジンへの改造計画を進めています。

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングスは本日初となる「気候関連財務状況開示タスクフォース報告書」を公開しました。作成に際しては、まず組織内の各チームと協力して広範な気候リスクスクリーニングを実施し、優先的な気候関連リスクを特定。次いで特定された最大の物理的リスクと移行リスク



## NORWEGIAN CRUISE LINE HOLDINGS LTD.

である海面上昇と炭素コストの影響を、様々な仮想気候シナリオを基にシナリオ分析が行われました。この評価結果をもとに、今後のリスクマネジメントと戦略的計画のプロセスを気候変動という観点からも合理性のあるものとしていきます。報告書の全文はこちら: [2021年版TCFDレポート](#)

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングスのヴァイスプレジデントで ESG、投資家関係及びコーポレートコミュニケーションを担当するジェシカ・ジョンは、「本報告書の発行は、私共の ESG(環境・社会・ガバナンス)情報開示を継続的に改善・拡大し、ステークホルダーにさらなる透明性を提供するものです。昨年夏に公開したクルーズ業界初の包括的 ESG レポートとサステナビリティ会計基準審議会 (SASB) の指標に続き、今回の TCFD 報告書もまた大きな前進を意味するものです。私たちはレジリエンス向上に力を入れています。気候評価で得られた結果は、今後気候関連リスクを私共の戦略と意思決定のプロセスに取り込む際に助けとなります。

###

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングスについて

ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス株式会社(NYSE:NCLH)はノルウェー・ジャンクルーズライン、オーシャニアクルーズ、リージェント セブンシーズクルーズの各ブランドを運営し、世界のクルーズ業界をけん引しています。3 ブランドの保有船合計 28 隻、総ゲスト数はほぼ 6 万名。各クルーズブランドのアイテナリーには世界 490 を超えるデスティネーションが網羅されています。今後 2027 年までに総ゲスト数 2 万 4,000 名を数える 9 隻の新造クルーズ船導入予定。

セイル&サステインについて

セイル&サステインは、ノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングスのグローバルなサステナビリティプログラムで、「世界中のすべての人に選ばれるバケーションになる」というビジョンを実践すると同時に社会や環境に好ましい影響を与えることを目的としています。プログラムは、社内外の主要ステークホルダーとの職域の枠を超えたコラボレーションによって開発された 5 つの柱(環境負荷の低減、安全な航海、人材育成、コミュニティの強化、説明責任を果たす誠実な運営)を中心に構成されています。

【発行元】ノルウェー・ジャン・クルーズライン・ホールディングス PR 株式会社 Flair